

第3学年1組 英語科学習指導案

指導者 市村 美絵 (T1)  
Angelito Turda (T2)

1 単元名 Multi Plus 3 わたしの詩

2 単元目標

- 英詩に興味をもち、意欲的に書こうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 英詩の形式を用いて自由に表現することができる。(表現の能力)
- 英詩を読んで何を表しているか理解することができる。(理解の能力)
- 英詩を表現する際の語彙や文法の知識を身に付けている。(言語や文化に関する知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 事前調査による生徒の実態

調査人数 32人 6月15日実施 ( )内は該当者数
本単元・本時の学習内容について
・英詩を書いたことがあるか。 ある(0)ない(32)
・一番得意とする活動は何か。
英語を読む(8) 英語を聞く(12)
英語を話す(3) 英語を書く(9)
・一番苦手とする活動は何か。
英語を読む(4) 英語を聞く(5)
英語を話す(10) 英語を書く(13)
・summerから連想する言葉にはどんなものがあるか。
festival, sea, summer vacation, homework,
firework, watermelon, hot, pool, mosquito,
swim, ice, sun, fan, fishing, beer, fish, trip,
surfing, camp, somen, Koshien,
(挙げた語の数)
1, 2語 (6) 4~6語 (9)
7~9語 (8) 10語以上 (9)

英語を聞くことに自信をもっている生徒が多く、書くことには苦手意識をもっている生徒が多い。書くことを苦手とする理由に、スペルを間違えることを挙げる生徒が多く、正確に書けないことで書くことを楽しめないと感じている生徒が多い。

summerから連想する英語の名詞や形容詞をあげさせたところ、つづりを間違ったりカタカナを用いて表現したりした生徒がいたものの、楽しそうに連想している生徒が多かった。しかし、ほとんど思い浮かばない生徒も6人いて、実際に詩を書く活動では、支援が必要である。

(2) 指導観

第3学年の生徒は大きなテストを3つ経験し、自己の成績を伸ばそうと主体的に学習する姿勢が以前より見られるようになってきた。文法的に正しい文章を書くことを求められる経験を通して、書きたいことを書くより、運用できる範囲の語彙で書くことを意識する生徒も見られるようになった。しかし、表現したいことはあっても文法を意識して書けないこともある。

本単元で扱う5行詩は、1行目から5行目まで内容と構成が大まかに決められている。このルールに則って書き進めることで、より表現することがやさしくなると思われる。つづりの間違いや、語順等に不安を感じ自由に書くことができない生徒も多いと考えられるが、詩を書くことを楽しむことができるように支援していきたい。

これまで稲敷市の紹介文を書いて展示したり、修学旅行の感想をカードに書いたりした経験から、今回作った英詩も展示し、他のクラスの生徒の作品に触れる機会を作りたい。

4 指導と評価の計画(2時間扱い)

配時	学習内容	評価規準と評価方法
1	・グループで協力して5行詩を書く。 (本時)	・英詩に興味をもち、意欲的に書こうとする。 ・英詩の形式を用いて自由に表現することができる。 ・英詩を読んで何を表しているか理解することができる。 ・英詩を表現する際の語彙や文法の知識を身に付けている。 (意欲・理解・表現・言語:観察・作品・発表)
1	・5行詩の発表をする。	・自作の英語の5行詩を聞き手に正しく伝わるように発表をすることができる。 (表現:発表・作品の発表)

5 本時の指導

(1) 目標

- ・ 5行詩に興味をもち、グループで協力して5行詩を書くことができる。

(意欲・理解・表現・言語)

(2) 展開

- ・ 留意点 評価 共同的な学びへの手立て

学習内容及び予想される生徒の活動	指導上の留意点と評価				
<p>1 あいさつをし、クリスマスをを用いた連想ゲームを行う。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。            (1) T1, T2の問答から英語に訳された俳句を聞き取る。            (2) 学習課題を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Let's write a poem !</div>            (3) 教科書の内容を学習する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2編の5行詩を聞き、それぞれの詩のイメージをつかむ。</li> <li>・ 2編の5行詩を読み、内容及び構成を理解する。</li> <li>・ 新出語句の発音練習・モデル詩の音読練習をする。</li> <li>・ 2編の詩を参考にして、Tool Boxを行う。</li> </ul>           (4) 話題を選び、5行詩を自由に書く。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1行目と5行目を空欄にした5行詩2つを聞く。</li> <li>・ グループで一つ的话题を選んで協力して書き発表する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想される生徒の活動</p> <p>ア) 書きたい話題について他の生徒と協力して意欲的に5行詩を書くことができる。</p> <p>イ) 話題を選んだが、5行目まで進めることができない。</p> <p>ウ) 意欲的に活動に参加できない。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分で書きたい話題を選んで自由に書く。</li> </ul> </p>	<p>・ 与えられた名詞、形容詞から連想する英語を当てることで言葉遊びを楽しむ気持ちをもたせる。</p> <p>・ Have you ever heard of ~? の文を用いて、完了形の復習も兼ねる。</p> <p>・ イメージを発表させることで作者の制作時の気持ちにせまりたい。</p> <p>・ 情景を思い浮かべながら音読するように指示する。</p> <p>・ 一貫性がある詩になるように留意させる。</p> <p>・ 自分で作った詩を発表し、展示すること、また展示するカードにはイラスト等を描いてもいいことを伝える。</p> <p>・ 1行目、5行目を空欄にすることで考えようとする意欲を高めたい。</p> <p>・ 和英辞典を用意しておく。            グループで作った作品を発表させることで個人で詩を作る際の参考になるようにする。</p> <p>・ ア) の生徒やグループには、ALTに聞かせてアドバイスをもらうように話す。</p> <p>・ イ) の生徒やグループには、3行目で用いることのできる語を提示する。</p> <p>・ ウ) の生徒やグループには、話題を選んだ後、始めにイメージマップに日本語で表すように指示する。</p> <p>・ 教科書の例以外の話題でも良いことを伝える。</p> <p>・ 次時までの課題として個人の詩を考えてくることを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・ グループで協力して5行詩を書くことができる。            (意欲・理解・表現・言語)</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">十分満足</td> <td style="width: 50%;">概ね満足</td> </tr> <tr> <td>意欲的に5行詩を書くことができる。</td> <td>教科書の例を取り入れながら5行詩を書くことができる。</td> </tr> </table>	十分満足	概ね満足	意欲的に5行詩を書くことができる。	教科書の例を取り入れながら5行詩を書くことができる。
十分満足	概ね満足				
意欲的に5行詩を書くことができる。	教科書の例を取り入れながら5行詩を書くことができる。				

< 5行詩の例 >

空欄に入る語を考えさせる。例 1はピーマン ,例 2は未来 ,美しいなどの語をあげる生徒が多い。正解が一つというわけではなく ,他の生徒の意見を聞き想像力を膨らませることをねらいとしたい。

例 1

(                    )  
So cute  
Green and fat  
Who 's inside of you?  
No one

答え Gachap in (ガチャピン)

例 2

Sky  
Clear blue  
C buds are running  
Where are they going?  
(                    )

答え Summer